

# 平成25年度 事業報告書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

公益財団法人 岩手県下水道公社

# 平成 25 年度 事業報告書（総括）

## 基本方針

公益財団法人岩手県下水道公社は、岩手県及び県内市町村の下水道行政を支援するため、下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善及び公共用水域の水質保全に寄与することを目的とし、公益目的事業と収益事業を実施した。

### 1 公益目的事業

- 下水道の普及啓発事業
- 下水道施設の管理運営支援事業
- 下水道技術者育成事業
- 下水道に関する調査研究事業
- 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

### 2 収益事業

- 下水道施設整備支援事業
- アセットマネジメント支援事業

### 3 東日本大震災津波被害への対応

東日本大震災津波により被災した市町村に対して、災害復旧・復興のための下水道施設等の設計・積算及び現場監督補助等の支援を実施した。

引き続き、沿岸地域の市町村のニーズを把握し、同様な支援を行うこととしている。

## 1 公益目的事業報告書

下水道の普及啓発や下水道施設の管理運営等の支援事業を行い、もって県民の衛生的で快適な居住環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与することを目的として、1の公益目的事業と2の収益事業を実施したところである。

また、東日本大震災津波による市町村の下水道施設の被災に対する支援として、沿岸部の市町村の災害復旧支援を行った。

### 1 下水道の普及啓発事業

#### (1) 施設見学

流域下水道の4浄化センター（都南・北上・水沢・一関）において、随時、施設見学を実施し、下水道の役割や下水処理の仕組み等を説明し、下水道の普及啓発に努めた。見学者は児童・生徒を中心に44件、2300人であった。（平成25年度の目標は見学件数70件）

#### (2) イベント

- ・7月30日(火) 小学生を対象とした「夏休み下水道教室」（北上浄化センター）の開催 7組16人
- ・8月31日(土) 普及啓発イベント「なるほど！下水道」（イオンモール盛岡）の開催
- ・9月7日(土) 施設見学会「下水道探検ツアー」（都南浄化センター）の開催 75人来場
- ・11月3日(土) 一関市普及啓発イベント（千厩浄化センター）の支援
- ・11月21日(土) 汚水処理連携セミナー（エスポワールいわて）の開催  
テーマ：公営企業会計の導入

#### (3) 下水道出前講座

平成25年度は11回実施した。（小学校10校、市役所1）

（平成25年度の目標は7回）

引き続き、小学校などの教育の場で下水道の役割等が取り上げられるよう働きかけるとともに、住民説明会等での活用について市町村へPRし、水洗化率の向上に結びつく活動としていく。

### 2 下水道施設の管理運営支援事業

#### (1) 流域下水道施設

北上川上流流域下水道の都南処理区、花北処理区及び胆江処理区並びに磐井川流域下水道の一関処理区の処理施設において、適正で効率的な維持管理の運営を支援するため、民間事業者の行う運転操作や水質汚泥分析等

について履行確認や評価及び指導助言を行うとともに設備・管渠等の補修、点検調査に係る積算資料の作成や監督等の管理運営支援業務を主体的に実施した。

各処理区（浄化センター）における下水処理状況等は、次のとおりである。

処 理 区 (浄化センター)	平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月	一日平均
都南処理区 (都南浄化センター)	流入水量 49,728 千 m <sup>3</sup>	136,241 m <sup>3</sup> /日
	脱水汚泥量 16,376 t	44.9 t/日
花北処理区 (北上浄化センター)	流入水量 11,979 千 m <sup>3</sup>	32,820 m <sup>3</sup> /日
	脱水汚泥量 5,534 t	15.2 t/日
胆江処理区 (水沢浄化センター)	流入水量 5,208 千 m <sup>3</sup>	14,268 m <sup>3</sup> /日
	脱水汚泥量 2,164 t	5.9 t/日
一関処理区 (一関浄化センター)	流入水量 3,011 千 m <sup>3</sup>	8,249 m <sup>3</sup> /日
	脱水汚泥量 1,518 t	4.2 t/日
4 浄化センターの 計	流入水量 69,926 千 m <sup>3</sup>	191,579 m <sup>3</sup> /日
	脱水汚泥量 25,592 t	70.1 t/日

・昨年度と比較し、夏期の大雨による雨水流入の増加等により、特に合流式である都南浄化センターの流入水量が大幅に増加した。また、都南浄化センターは東仙北ポンプ場の稼動に伴い流入水量が増加した。

$$69,926 \text{ 千 m}^3 \text{ (25 年度)} / 57,506 \text{ 千 m}^3 \text{ (24 年度)} = 122\%$$

・放流水質の管理目標 BOD 5mg/L 以下（目標達成日数 80%以上）の達成状況は、測定日数 225 日中 213 日達成した。（目標達成日数 95%）

## (2) 公共下水道施設

市町村が管理する下水処理場において、運転計画の作成など維持管理全体のマネジメントを行うとともに、民間事業者の行う運転管理や水質汚泥分析等に係る履行確認や評価を行うなど管理運営支援業務を実施した。

平成 25 年度は、奥州市（前沢下水浄化センター）、洋野町（種市浄化センター、大野浄化センター）、一戸町（一戸町終末処理場）、九戸村（九戸村浄化センター）の 4 市町村 5 処理場の管理運営支援業務を実施した。

簡易に測定できる放流水透視度にて管理し、水質悪化時には速やかに対応を行った。放流水透視度の管理目標 100cm 以上（目標達成日数 80%以上）の達成状況は、測定日数 242 日中 207 日達成した。（目標達成日数 86%）

## 3 下水道技術者育成事業

市町村下水道担当職員等を対象に、下水道管理者として修得しておくべき基本的な事項等についての「技術研修」を、7 月 24 日から 26 日までの 3 日間実施した。受講者は、23 市町村、56 人であった。

（平成 25 年度の目標は、参加市町村数 30 市町村）

平成 26 年度も受講者からのアンケート結果を参考にして、さらに充実した研修会となるよう目指すとともに、参加できなかった市町村には研修会資料を送付するなどフォローしていく。

#### 4 下水道に関する調査研究事業

##### (1) リン回収を目的とした汚泥処理工程での元素類の挙動調査に関する共同研究

流域下水道施設における資源の有効利用に関する調査研究として、岩手大学と共同で実施した。維持管理上の課題として汚泥処理系配管閉塞の原因の一つと考えられているMAP（リン酸アンモニウムマグネシウム）の生成を抑制するとともに、リン資源枯渇の解消に貢献する可能性のある下水汚泥焼却灰へのリン移行効率の向上を図る手法を検討するものである。

平成 25 年度は、リン化合物の生成抑制を図ることを検討するため、機械濃縮汚泥からの元素類の溶出特性に関する調査を行った。

今回の調査において、MAP が生成される消化タンクに投入する前の工程である濃縮汚泥は、無酸素の環境にすると、MAP を構成するマグネシウムが溶出することが示唆された。

平成 26 年度は、効率良くMAP の生成を抑制する条件と汚泥からリンが溶出しない条件に関する調査を行う。

##### (2) 流域下水道施設における発電施設導入可能性調査

地球温暖化や東日本大震災を契機とした新エネルギーの活用へのシフトという社会的要請を踏まえ、岩手県流域下水道施設の 4 箇所処理場内における太陽光発電施設の導入可能性について調査・検討を実施した。

調査結果を踏まえて検討した結果、地球温暖化防止等環境への貢献、環境啓発、災害等非常時の活用等で一定の効果は認められるが、投資に見合うだけのメリットを見出すことは困難であり、下水道施設の維持管理費縮減に繋がらないため太陽光発電施設を導入しないこととした。

#### 5 排水設備工事責任技術者の資格認定事業

排水設備工事の設計・施工管理を行う際に必要な知識や技術について、資格認定や更新講習会を次のとおり実施した。

- ・排水設備工事責任技術者試験・受験講習会

平成 25 年 9 月 29 日(日) 岩手教育会館 受講者 131 名

- ・排水設備工事責任技術者試験

平成 25 年 10 月 20 日(日) 岩手教育会館 受験者 140 名(合格者 80 名)

- ・排水設備工事責任技術者更新講習会  
平成 25 年 12 月 1 日(日) 岩手教育会館 更新対象者 608 名  
(更新者 532 名)

※平成 26 年 4 月 1 日現在の登録技術者数 : 4,774 名

## 2 収益事業報告書

本県の下水道整備を促進するため、県及び市町村に対し、下水道施設の設計・積算及び現場監督補助等の技術支援を行うとともに、東日本大震災津波により被災した市町村に対して、災害復旧のための支援業務を実施した。

また、下水道施設の適正且つ効率的な運用を支援するため、県内市町村が管理する下水道施設の長寿命化計画の策定業務を実施した。

### 1 下水道施設整備支援事業

県及び市町村が施工する下水道工事に係る設計・積算及び現場監督補助等の業務を受託し、技術支援を行ったほか、東日本大震災津波による災害復旧のための設計・積算及び現場監督補助等の技術支援を行った。

※平成 25 年度の目標は、要請対応率 100%

#### (1) 流域下水道施設整備支援

流域下水道施設の老朽化等による更新工事をはじめ、施設整備の設計・積算及び現場監督補助等の技術支援

3 件、契約額 8,529,150 円（要請対応率 100%）

#### (2) 公共下水道施設整備支援

##### ① 施設整備支援受託

下水道の専門技術者の不足している市町村への技術支援  
9 市町 30 件（要請対応率 100%）

（矢巾町 5 件、一関市 4 件、八幡平市 8 件、洋野町 5 件、  
一戸町 2 件、軽米町 1 件、大船渡市 1 件、大槌町 1 件、  
野田村 3 件） 契約額 59,133,900 円

※平成 26 年度への繰越し 2 件、7,014,000 円含む。

##### ② 災害復旧支援受託

東日本大震災津波により被災した市町村の下水道施設等の復旧に関する技術支援

5 市町村 8 件（要請対応率 100%）

（大槌町 2 件、野田村 1 件、田野畑村 2 件、陸前高田市 2 件、  
釜石市 1 件） 契約額 14,791,350 円

※平成 24 年度からの繰越し 1 件、1,470,000 円、及び平成 26 年度への繰越し 3 件 8,617,350 円含む。

（平成 25 年 4 月 1 日以前の契約で、当期において完了した支援業務は 1 件 1,470,000 円）

## 2 アセットマネジメント支援事業

市町村の下水道施設における長寿命化計画策定を支援するため、長寿命化計画策定業務や設備台帳への基本データ入力を市町村から受託し、資料作成等の技術支援を行った。(要請対応率 100%)

### ① 長寿命化計画策定業務

1 市 1 件、契約額 7,140,000 円 (北上市)

### ② 設備管理システム台帳データ入力業務

4 市町村 9 件、契約額 6,174,000 円 (一関市(6 件)、山田町、住田町、九戸村)



### 3 管 理 部 門

#### 1 職員の状況（平成 26 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

組 織	職 員	嘱 託 員	臨時職員	計
事 務 局 長	1			1
企 画 管 理 課	4	1	2	7
工 務 課	6	2	1	9
県 南 支 社	9	1	1	11
県南支社都南出張所	4	1	1	6
合 計	24	5	5	34

※職員のうち岩手県からの派遣職員数は 11 名

#### 2 役員等の状況（平成 26 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

役 職 名	常勤	非常勤	計
評 議 員		5	5
理 事 長	1		1
理 事		5	5
監 事		2	2
合 計	1	12	13

### 3 職員採用試験

平成 26 年度土木職員の職員を 2 度募集したが、どちらも応募者がなかったことから平成 26 年度の採用は見送った。

なお、不足する土木職の職員に対応するために、平成 26 年度は嘱託員を採用して業務に対応する。

### 4 職員研修等

職員相互における共通認識や情報共有と職員個々の技術力向上を目指し、社内職員による発表や外部講師による出前講座を利用して 3 回実施した。

また、2 月には業務の適正かつ効率的な運営に向け取り組んでいる職員の取組成果について発表する「改革改善成果発表会」を実施し、表彰している。

### 5 危機管理対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波への対応について課題の抽出や改善策の検討を行った結果、危機管理体制の見直し・整備を進めた。

平成 25 年度は、岩手県県土整備部下水環境課、岩手県北上川上流流域下水道事務所及び維持管理業者と非常時における連携・情報共有を強化する目的で非常訓練を実施した。

訓練時における課題に対して改善を行い、平成 26 年度も引き続き訓練を実施する。

### 6 職場環境の改善

職員の組織力及びコミュニケーション能力の向上に努めるため、社内報を平成 25 年 6 月より毎月発行し、計 10 回発行した。

平成 26 年度は、引き続き発行していくが、内容やあり方を検討する。

### 7 公益法人制度

#### (1) 立入検査

平成 25 年 8 月 28 日に岩手県による公益法人立入検査を受検し、公益認定申請時の公益目的事業内容や、公益認定基準との適合性について確認された。

指導事項としては「岩手県流域下水道敷地内における発電施設導入可能性調査」の結果によっては変更認定申請が必要となる場合があるので、進捗状況について報告することとされた。

#### (2) 岩手県公益認定等審議会報告

平成 24 年度事業報告時の遊休財産が公益認定基準の保有上限額を超過し不適合となっており、また平成 25 年度にも不適合となる可能性があるとして平成 25 年 12 月 16 日付けで「法人の運営組織及び事業活動の状況に関する報告書」を求められた。

報告内容については、新規事業として「流域下水道施設内照明の省エネ化」、  
「日本下水道事業団研修の受講支援」及び「下水道行政の変化に対応するための  
テーマ別研修」を超過している遊休財産を活用して実施することとして平成 26  
年 1 月 30 日に決議の省略による第 12 回理事会の決議をもって同審議会へ報告  
し、報告内容は具体性があるとして判断され、また報告内容を反映した公益目的  
事業とするよう「変更届」を提出することとされた。

※平成 26 年 3 月開催の第 13 回理事会と第 8 回評議員会の決議をもって「変  
更届」を平成 26 年 3 月 31 日に提出した。

## 8 評議員会及び理事会の開催状況

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所	会 議 の 主 た る 内 容
第 8 回理事会	平成 25 年 5 月 14 日	盛岡市 サニセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 24 年度事業報告及び計算書類の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社第 6 回評議員会の招集について  [報告事項] 1 平成 24 年度理事関係者との利益相反取引の報告について 2 平成 25 年度県出資等法人運営評価について
第 6 回評議員会	平成 25 年 5 月 29 日	盛岡市 サニセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 24 年度事業報告及び計算書類の承認について 2 公益財団法人岩手県下水道公社理事の選任について
第 9 回理事会	平成 25 年 5 月 29 日	(決議の省略)	1 代表理事の選定について
第 10 回理事会	平成 25 年 7 月 3 日	(決議の省略)	1 職員の給与に関する規程の取扱いについて
第 11 回理事会	平成 25 年 11 月 7 日	盛岡市 サニセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社第 6 回評議員会の招集について 2 就業規程の一部改正の承認について  [報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 25 年度上半期業務執行状況について 2 平成 25 年度県出資等法人運営評価について
第 7 回評議員会	平成 25 年 11 月 25 日	盛岡市 サニセル盛岡	[報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社平成 25 年度上半期業務執行状況について 2 平成 25 年度岩手県出資等法人運営評価について

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所	会 議 の 主 た る 内 容
第 12 回理事会	平成 26 年 1 月 30 日	(決議の省略)	1 遊休財産の活用方策に係る以下の事項について、別紙「報告書」により岩手県公益認定等審議会へ報告することについて ①現時点で予定している事業内容について ②「岩手県流域下水道敷地内における発電施設導入可能性調査」事業が公益目的事業に該当する理由 ③今後の事業スケジュールについて
第 13 回理事会	平成 26 年 3 月 18 日	盛岡市 カンセル盛岡	1 評議員会の定めにより収益事業の財産から公益目的事業とする財産について 2 公益財団法人岩手県下水道公社平成 25 年度収支予算変更の承認について 3 公益財団法人岩手県下水道公社平成 26 年度事業計画及び収支予算の承認について 4 公益財団法人岩手県下水道公社事務局長の任免について 5 公益財団法人岩手県下水道公社第 8 回評議員会の招集について  [報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社中期経営計画の達成状況について
第 8 回評議員会	平成 26 年 3 月 27 日	盛岡市 カンセル盛岡	1 公益財団法人岩手県下水道公社理事の選任について 2 評議員会の定めにより収益事業の財産から公益目的事業とする財産について  [報告事項] 1 公益財団法人岩手県下水道公社中期経営計画の達成状況について

9 主たる行事及び会議等の内容

年 月 日	行 事 及 び 会 議 等 の 内 容	場 所
平成 25 年		
5 月 10 日	監事監査	公 社
14 日	第 8 回理事会 (H25 事業報告等)	盛 岡 市
29 日	第 6 回評議員会 (H25 事業報告、理事選任)	盛 岡 市
〃	第 9 回理事会 (代表理事選定) ※決議の省略	公 社
30 日	排水設備工事責任技術者試験運営委員会	公 社
7 月 3 日	第 10 回理事会 (給与規程の取扱い) ※決議の省略	公 社
24～26 日	下水道公社技術研修開催	公 社
30 日	「夏休み下水道教室」開催	公社(北上市)
8 月 28 日	公益法人立入検査	公 社
31 日	「なるほど!下水道」開催	盛 岡 市
9 月 7 日	「下水道施設見学会」開催	公 社
29 日	排水設備工事責任技術者試験受験講習会	盛 岡 市
10 月 3 日～4 日	第 26 回東北下水道公社連絡会議	山 形 県
20 日	排水設備工事責任技術者試験	盛 岡 市
24～25 日	第 35 回全国下水道公社連絡協議会	新 潟 県
11 月 3 日	一関市普及啓発イベント (協力)	一 関 市
7 日	第 11 回理事会 (平成 25 年度上半期報告)	盛 岡 市
21 日	「汚水処理連携セミナー」開催	盛 岡 市
25 日	第 7 回評議員会 (平成 25 年度上半期報告)	盛 岡 市
12 月 1 日	排水設備工事責任技術者更新講習会	盛 岡 市

年 月 日	行 事 及 び 会 議 等 の 内 容	場 所
平成 26 年		
1 月 30 日	第 12 回理事会（遊休財産の活用方策）	公 社
3 月 18 日	第 13 回理事会（平成 25 年度予算変更、26 年度事業計画・予算案）	盛 岡 市
3 月 27 日	第 8 回評議員会（理事選任、収益事業財産から公益事業財産）	盛 岡 市